



温室効果ガス排出量 検証報告書

2024 年 9 月 2 日

カゴメ 株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 丸尾 智雅



1. 検証の対象及び目的

カゴメ株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2023 年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2023 年（2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日まで）の以下の GHG 排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ 1 GHG 排出量

算定対象における天然ガス（LNG を含む）、都市ガス、LP ガス、A 重油、軽油、灯油、ガソリンの使用に伴って直接的に排出される CO₂ 排出量、並びに液化炭酸ガス封入の使用^{※2}に伴う CO₂ 排出量

2) スコープ 2 GHG 排出量

算定対象における電力、熱の使用に伴って間接的に排出される CO₂ 排出量

3) スコープ 3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ 3 カテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 13^{※3}において排出される CO₂ 排出量

検証の目的は、事業者の GHG 排出量情報が算定方法^{※4}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2023 年の GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

● スコープ 1,2

算定対象※1	検証された温室効果ガス排出量(t-CO ₂ e)	
	スコープ 1	スコープ 2
那須工場	8,776	5,727
富士見工場	1,979	125
小牧工場	1,780	4,076
茨城工場	2,030	2,709
小坂井工場	1,401	2
上野工場	720	0
カゴメ(株) 営業・オフィス (計 23 サイト)	408	1,446
Industria de Transformacao de Produtos Alimentares,S.A.	15,855	0
Fomento da Industria do Tomate, S.A.	11,709	0※5
Kagome Australia Pty. Ltd	14,045	7,844
Kagome Inc. (USA)	2,123	136
Kagome Foods, Inc.	2,751	5,320
Vegitalia S.p.A	1,164	1,551
Taiwan Kagome Co., Ltd.	1,256	1,963
響灘菜園(株)	5,388	480
いわき小名浜菜園(株)	8,912	508
(株)八ヶ岳みらい菜園	2,674	314
世羅菜園(株)	7,671	699

NOTE:

次頁参照

● スコープ 3

スコープ 3	検証された温室効果 ガス排出量(t-CO ₂ e)	算定対象 ^{※1}
カテゴリ 1	463,489	カゴメ (国内)、菜園
カテゴリ 2	9,784	カゴメ (国内)、菜園、カゴメアクシス(株)
カテゴリ 3	12,873	同上
カテゴリ 4	46,646	カゴメ (国内)
カテゴリ 5	2,257	カゴメ (国内) ^{※6} 、菜園
カテゴリ 6	239	カゴメ (国内)、菜園、カゴメアクシス(株)
カテゴリ 7	817	同上
カテゴリ 8	449	同上
カテゴリ 9	20,779	カゴメ (国内)
カテゴリ 10	11,628	同上
カテゴリ 12	11,364	同上
カテゴリ 13	54	カゴメアクシス(株)

NOTE:

※1：算定対象は上記スコープ 1,2、及び、スコープ 3 の表を参照

- ・カゴメ (国内)：那須工場、富士見工場、小牧工場、茨城工場、小坂井工場、上野工場、営業・オフィス (23 サイト)
- ・カゴメ (海外)：Industria de Transformacao de Produtos Alimentares,S.A., Fomento da Industria do Tomate, S.A. , Kagome Australia Pty. Ltd, Kagome Inc. (USA), Kagome Foods, Inc., Vegitalia S.p.A, Taiwan Kagome Co., Ltd.
- ・菜園：響灘菜園(株)、いわき小名浜菜園(株)、(株)ハケ岳みらい菜園、世羅菜園(株)

※2：菜園における農作物の成長促進に用いる液化炭酸ガスがスコープ 1 の対象

※3：スコープ 3 の各カテゴリの概要

- カテゴリ 1 (購入した製品・サービス)：購入した主な製品の原料及び容器包装を対象
サプライヤーから入手した一次データを一部の算定に使用
- カテゴリ 2 (資本財)：設備投資の固定資産を対象
- カテゴリ 3 (スコープ 1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動)：使用した燃料、電力、熱を対象
- カテゴリ 4 (輸送、配送 (上流))：海外・国内陸上輸送、海上輸送を対象
- カテゴリ 5 (事業から出る廃棄物)：算定対象から出る産業廃棄物を対象
- カテゴリ 6 (出張)：従業員の公共交通機関利用による出張を対象
- カテゴリ 7 (雇用者の通勤)：従業員の所属拠点への通勤を対象
- カテゴリ 8 (リース資産 (上流))：リース車両を対象
- カテゴリ 9 (輸送、配送 (下流))：流通者物流拠点から店舗までの陸上輸送を対象
- カテゴリ 10 (販売した製品の加工)：事業者が販売した業務用製品の調理加工を対象
- カテゴリ 12 (販売した製品の廃棄)：事業者が販売した製品の梱包資材 (廃プラスチック、紙くず、金属くず、ガラス陶磁器くず) を対象
- カテゴリ 13 (リース資産 (下流))：土地・建物等のリース物件を対象 (カゴメアクシス(株)が管理するカゴメグループの国内の不動産物件を対象)

※4：スコープ 1, 2, 3 の算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.6)」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.4)」、「国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA Ver3.1」、「Ademe Base Carbone V23.2」、「ecoinvent v3.10」、及び、事業者が作成した「算定手順書・算定報告書 (スコープ 1,2,3)」

※5：小数点以下を四捨五入した値

※6：総合研究所以外の営業・オフィスは除く